

令和2年度(2020年度)

事業報告書

社会福祉法人 夢の郷

社会福祉法人 夢の郷

基本理念

1. 人権を守り主体性の尊重に努めます
2. 地域で暮らすための環境整備に努めます
3. 安心と安全の保障に努めます

運営方針

1. 利用者が選択できるメニュー（ハード・ソフト面）を提供します
2. 利用者の生活を見守り柔軟に対応します
3. 利用者主体の事業を推進します

夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせるよう生活支援を行います。

	目 次	ページ
1	はじめに(令和2年度をふりかえって)	1～4
2	事業案内 社会福祉法人夢の郷	5～6
3	行事等実施報告	7
4	実習・ボランティア・介護体験等実習 受入報告	8
5	研修委員会報告	9～10
6	苦情解決委員会	11～14
7	危機管理委員会	15～18
8	広報委員会報告	19
9	給食委員会報告	20～21
10	協力医療機関受入結果報告	22～23
11	各事業所報告	
	1 法人本部	24～25
	2 朝海ハイム	26～28
		<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊型自立訓練事業 ・生活介護事業
	3 クローバーハウス	29～30
		<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型事業
	4 いすず工房	31～32
		<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型事業 ・生活介護事業
	5 グループホーム夢の郷 (はるか・あすか・南風荘・朝海ハイムⅡ・城山荘)	33～35
		<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助事業
	6 あすか	36～38
		<ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援型共同生活援助事業
	7 アンダンテ	39～40
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援事業(日中一時支援事業) ・特定相談事業
	8 津市がい者相談支援センター	38
		<ul style="list-style-type: none"> ・サテライト事業
	9 工賃向上報告書	41
		<ul style="list-style-type: none"> ・クローバーハウス ・いすず工房

令和2年度をふりかえって

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の蔓延により世界中が大きな影響を受けた一年でした。コロナは変異型となり更に勢力を拡大し一向に衰える気配がみえません。

コロナは世界中の人々の生活スタイルを一変させました。世界的規模での感染防止対策として、各国では、旅行や外出自粛、イベント中止や学校の休校、他人数での飲食・飲酒の禁止、リモートワークの推奨、マスク着用等に取り組んでいます。

我が国においても、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催が延期になったり、緊急事態宣言等が国・県から発出され日常生活で多くの制限や自粛を求められています。

社会福祉法人「夢の郷」（以下「当法人」という。）は平成10年6月に法人認可を受け、平成11年4月1日から精神障がい者社会復帰施設援護寮「朝海ハイム」、通所授産施設「クローバーハウス」、生活支援センター「アンダンテ」の3事業と精神障がいの者の就労の場として「ドリーム高茶屋」「待夢」の2収益事業をスタートし、障がいの者が安心して地域で暮らせるよう生活支援することを基本理念に掲げ、利用者の増加や社会ニーズに合わせた事業展開を務め昨年20年が経過しました。

当法人が立地する津市高茶屋地区は、県立こころの医療センターが長年にわたり精神科医療及び地域活動を展開されてきたことにより「精神障がい者への理解」は他地区に比して格段に進んでいると言えます。その意味では非常に恵まれた環境にあります。しかし、住民一人ひとりに関わる現実的な問題となると「障害を理解していても、対応が分からなくて受け入れにくい」ということがあります。障がい者理解と対応を広げていく活動を粘り強くしていくことは、当法人としての社会的な使命でもあり課題と考えています。

社会の価値観・家族形態・生活環境等が多様化し急速な社会変化に馴染めずストレスや精神的な悩みを抱え社会的に孤立し引きこもっている人達があります。

このような人達に相談窓口を開設していくことも当法人の使命でもあります。

当法人として、「基本理念」に沿った事業運営を引き続き行っていきます。

1. コロナが蔓延する中で

当法人では、コロナ対策として、行政の指導も仰ぎながら利用者・職員ともども「感染しない、させない」ため「三密（密集）（密接）（密閉）防止」「マスク

の着用」「きめ細かな手指消毒」等を行い感染予防に努めてきました。

国の「新型コロナウイルス感染症包括支援事業」により職員に『障害福祉従事者慰労金』を受け、「障害者福祉サービス施設・事業所等における感染症徹底支援事業」により衛生用品等の購入を進め各事業所に配備しました。

具体的な感染予防対策として、消毒用アルコールを各所に配置、テーブル・手すり等人が接触する全ての場所をアルコール消毒、各所の定時的な換気、飛沫防止用の衝立、ビニールシートの活用、ウィルス対応空気清浄機の設置、来所者の体温測定等出来ることは全て行ってきました。

就労継続支援 B 型事業所クローバーハウス、いすず工房では、障がい者の地域生活、経済的自立を目指した事業運営に取り組んでいます。

両事業所ともにコロナの影響により、お得意様や販売先の閉鎖、イベント・行事の中止、休校等が相次ぎ、売上額が大きく減少しました。利用者に支払う工賃は職員・関係者の努力により何とか現状維持できたところですが、令和 3 年度もコロナの影響により販売できない事態が続けば現在の工賃保障は困難になることも考えられます。

津市内においても、家庭・病院・老人施設等でコロナのクラスター（集団感染）が発生しました。

当法人では、利用者了解のもとでの外泊や行動範囲の規制、及び職員の不断の努力の結果、一人も感染者が出なかったことは幸いでした。しかし、コロナは、目に見えず、感染防止の特効薬と考えられるワクチン接種が住民全体にいつ実施されるか分からない現状では「いつ、誰が、どこから罹っても不思議でない」と考え、毎日緊張感を持って業務に携りました。

令和 3 年度も利用者・職員が共に継続的な取組が必要です。

2、社会福祉充実計画の基づく夢の郷将来構想について

夢の郷将来構想実現に必要な不可欠な法人南側の隣接県有地（旧あすなろ学園職員駐車場 9 6 0 m²）の土地取得について、令和元年度の社会福祉充実計画に基づき入札参加を予定していましたが、令和 2 年度に延期されました。

令和 2 年 10 月 19 日の入札に参加し幸いにも落札することができました。

令和 3 年 1 月 4 日に所有権移転登記が完了し、3 月理事会において基本財産とする承認を得て監督官庁への定款変更届を行いました。

令和 3 年度には、アンダンテの相談機能検討、建物の基本設計等を予定しています。現在、取得地は職員駐車場として暫定的に活用しています。

なお、県から旧あすなろ学園・草の実リハビリテーションセンター跡地の活用

計画について、①旧あすなろ学園敷地は県立盲学校・ろう学校の校舎・体育館の建設、②草の実りハビリテーションセンター敷地は運動場・職員駐車場に利用、③法人取得地と城山支援学校の間に3校の寄宿舍建設が発表されました。

3、職員の確保及び職員の資質向上について

令和2年度も家族介護、自身の高齢化等の理由により複数の職員が退職しました。その都度、ハローワーク等を通じて職員募集、確保を行っています。在職職員の高齢化も進んでおり、若年層の職員確保が課題です。専門資格職員（精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士等）の確保は特に難しい状況です。

将来の法人を担う人材養成・確保は喫緊の最重要課題となっています。

職員の資質向上については、運営規程による各事業所内の新任研修と継続研修のほか、全員受講の虐待防止研修と接遇研修を毎年行っています。そのほか、施設外研修（コロナ予防のためリモート研修が主）、研修委員会の企画による職場内研修を行いました。

職員研修については、勤務時間、事業所の繁忙時間差等があり、全員が一斉に受講等困難な面があります。

職員確保・待遇改善、国の「働き方改革」に対応するために外部専門機関の指導を仰ぎ就業規則・給与規程等の見直しを行いました。

4 利用者の確保について

地域生活の場である共同生活援助事業所「グループホーム夢の郷」（4か所合計定員22人）、日中サービス支援型共同生活援助事業所「あすか」（定員6人、短入所1人）は十分活用されています。

就労の場である就労支援B型事業所「クローバーハウス」（定員20人）、「いすず工房」（合計定員28人、就労支援B型20人、生活介護多機能型8人）、生活介護事業所「朝海ハイム」（定員20人）は、定員を満たすことができませんでした。

就労継続支援B型事業は制度の規制緩和が進み、民間企業等が就労継続支援A型事業へ多数進出し、利用者の確保が厳しい実態があります。

当法人の利用者特性として、疾病に伴い入退院を繰り返す人、高齢となり介護施設移行する人等があり、安定的に利用者確保できにくい現状があります。

障がい者の地域生活には、安心・安全な居住場所と日中活動の場の提供が必要です。

5 共同生活援助事業について

当法人では、5か所のグループホーム(はるか・南風荘・城山荘・朝海ハイムⅡ・あすか)を運営し、利用者一人ひとりの生活を少しでも豊かにするため「地域での暮らし」に視点を置き生活の質を向上させる支援に努めています。

具体的な日常生活支援としては、入浴介助・洗濯支援・衣類の整理・買い物支援・居室の清掃等のほか朝食見守り・服薬管理・医療機関等への送迎を行い、夜間支援では巡回訪問・眠前薬の支援や安否確認を行っています。

6 地域における公益的な取り組み

当法人では、地域における公益的な取組として、「いすず工房」のうどん店「いすず亭」で「ふれあいうどん」の提供を行っています。

法人の立地する城山東地区在住の70歳以上を対象に、外出の機会を増やし、夢の郷・障がい者理解が深まることを目的としています。

地区民生委員が、家庭訪問時に「ふれあいうどん割引券」月2枚を届けいただいております。しかし、コロナ等の影響があり利用実績が前年度に比し約半数近くに減少しました。「いすず亭」の店内が狭く密集を避けられたのか、外出を制限されたのではないかと思います。

7 防災計画等について

昨今、地球温暖化のため異常現象が全世界で頻発しており、我国では毎日地震が発生しています。特に南海地震に関しては大きな被害・影響が想定されています。当法人には複数の利用者が昼夜共同生活をしており、災害時に安全な場所に迅速に避難することが重要です。

利用者を支援する職員は、災害発生時に利用者の安全確保を迅速に行う役割分担や基本的行動について事前に十分に理解しておくことが必要です。

当法人では「消防計画」「地震防災対策計画」に基づき宿泊型自立訓練事業所・グループホームで防災・防火訓練、地震避難訓練等を毎月実施しています。夜間訓練を繰り返すことにより、自分たちだけで避難することも可能となりました。非常用食品の備蓄もしています。

各事業所の防災・消防設備は、専門業者に年2回消防用設備等の点検業務を実施しています。不良設備については、早期に改修等を行っています。

また、防犯対策として、各グループホーム、朝海ハイム（宿泊型自立訓練事業所）には防犯カメラ、防犯センサーライトを設置しています。

利用者支援時の事故対応については、職員間で事故発生情報を共有し、対応を協議しています。事故報告書を作成し危機管理委員会に諮り事故発生原因や防止策を検討しています。

「アンダンテ」

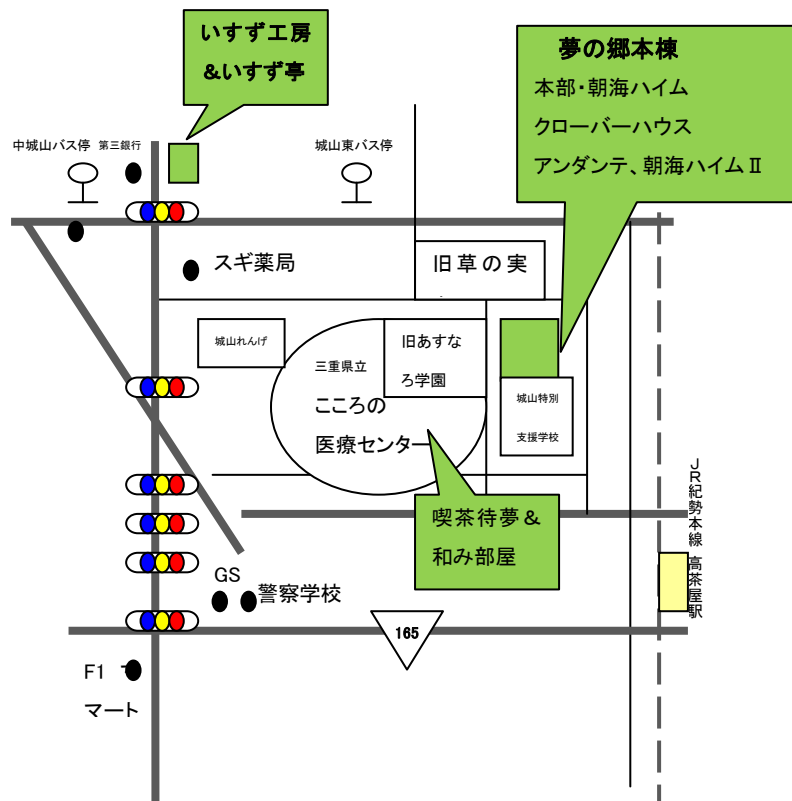
●一般相談支援事業

- ・計画相談

地域生活をコーディネートし、自分らしい生活へのプランを提案します。

●日中一時支援事業

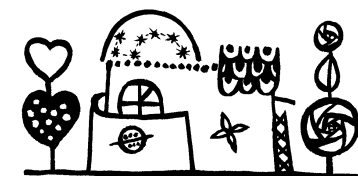
- ・憩いの場、余暇活動の機会、食事、入浴等のサービス提供を行います。



三交バス津駅より警察学校行 「城山東」下車 徒歩3分
 三交バス津駅より警察学校行 「中城山」下車 徒歩7分
 JR紀勢本線 「高茶屋駅」下車徒歩18分
 伊勢自動車道 久居I.C 車で15分

事業案内

社会福祉法人 夢の郷



津市城山一丁目8番16号

TEL 059-238-0303
 FAX 059-238-0304

夢の郷は、障がい者が安心して地域で暮らせるよう、生活支援を行います

クローバーハウス

- 就労継続支援B型事業

パン製造・販売

受託作業

☎ 059-234-5939

Fax 059-238-0304

缶詰パン



いすず工房

- 就労継続支援B型事業

(製麺・販売・受託作業)

いすず亭(うどん屋)

喫茶待夢(こころの医療センター内)

- 生活介護事業

☎ 059-234-0020

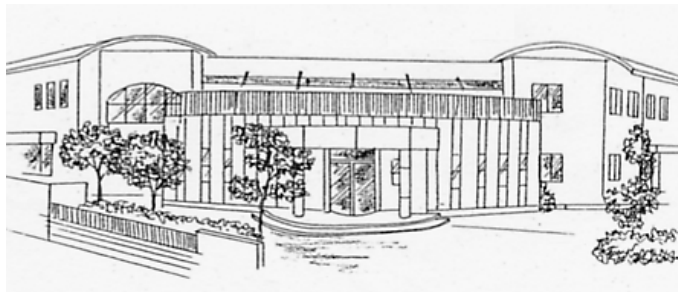
Fax 059-234-0155

あさみ 朝海ハイム

- 宿泊型自立訓練事業

- 生活介護事業

和み部屋(こころの医療センター内)



○利用につきましては、福祉サービス受給者証が必要です。
居住地の市町福祉課にご相談ください。

【包括型グループホーム夢の郷】

はるか・あすか・南風荘・朝海ハイムⅡ

【日中サービス支援型グループホーム】

あすか

令和2年度 行事等実施報告

項目 月	行事等	災害訓練	健康管理・衛生関係	会議
4月		18 火災訓練(グループホーム)		1 辞令交付
		23 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	15 高茶屋診療所医師講話	6 運営会議
5月		16 防災地震訓練(グループホーム)	毎週木曜日 訪問歯科	7 運営会議
		27 防災避難訓練(朝海生活介護)	21 高茶屋診療所医師講話	18 監事監査
		28 防災避難訓練(朝海ハイム宿泊)		22 理事会
6月		20 火災訓練(グループホーム)	毎週木曜日 訪問歯科	4 運営会議
		25 火災訓練(朝海ハイム宿泊)	17 高茶屋診療所医師講話	12 定時評議員会
7月		12 避難訓練(いすず工房)	毎週木曜日 訪問歯科	2 運営会議
		13 火災訓練(グループホーム)	15 高茶屋診療所医師講話	18 三重県連精障害者事業所連絡会
		19 避難訓練(クローバーハウス)		
		29 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		
8月		15 防災訓練(グループホーム)	2 職員定期健康診断	6 運営会議
		20 火災訓練(グループホーム)	毎週木曜日 訪問歯科	21 計画相談検討会議
		27 火災避難訓練(朝海ハイム宿泊)	9 利用者定期健康診断	30 津市精神障害者連合会
			19 高茶屋診療所医師講話	
9月		5 防災訓練(朝海生活介護)	毎週木曜日 訪問歯科	3 運営会議
		13 防災訓練(いすず工房)	18 高茶屋診療所医師講話	11 城山地区意見交換会
		19 防災訓練(グループホーム)		
		24 防災地震訓練(朝海ハイム宿泊)		
10月		2 防災地震訓練(朝海ハイム生活介護)	毎週木曜日 訪問歯科	1 運営会議
		5 防災訓練(いすず工房)	16 高茶屋診療所医師講話	14 理事会・評議員会
		11 火災訓練(朝海ハイム生活介護)	5 職員定期健康診断	18 津市自立支援協議会
		24 火災訓練(グループホーム)	利用者定期健康診断12日、27日	
		29 防災地震訓練(朝海ハイム宿泊)	21 利用者インフルエンザ予防接種	
11月		1 防災訓練(いすず工房)	毎週木曜日 訪問歯科	5 運営会議
		21 火災訓練(グループホーム)	18 高茶屋診療所医師講話	9 三重県精神保健福祉審議会
		26 避難訓練(朝海宿泊 防災グッズ点検)	4 インフルエンザ予防接種(職員)	5 津市精神保健福祉連合会
		26 防災地震訓練(朝海ハイム宿泊)		20 三重県連精障害者事業所連絡会
12月		11 防災訓練(朝海ハイム生活介護)	毎週木曜日 訪問歯科	3 運営会議
		19 防災訓練(グループホーム)		10 理事会
		24 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	18 高茶屋診療所医師講話	21 評議員会
1月		12 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	毎週木曜日 訪問歯科	7 運営会議
		16 防災訓練(グループホーム)	22 高茶屋診療所医師講話	23 三重県連精障害者事業所連絡会
		28 防災訓練(朝海ハイム宿泊)		
2月	2 豆まき	11 地震防災(朝海(生活介護))	毎週木曜日 訪問歯科	4 運営会議
		13 火災訓練(グループホーム)	17 高茶屋診療所医師講話	9 三重県精神保健福祉審議会
		17 防災訓練(いすず工房)		13 津地域自立支援協議会
		25 避難訓練(朝海ハイム宿泊)		22 三重県連精障害者事業所連絡会
3月		11 避難訓練(いすず工房)	毎週木曜日 訪問歯科	4 運営会議
		9 夜間避難訓練(グループホーム)	17 高茶屋診療所医師講話	12 理事会
		25 火災避難訓練(朝海ハイム宿泊)		22 評議員会

令和2年度 実習・研修・見学・ボランティア受入 実績報告

1 実習の受入

職種等	学校	実人員	日数
精神保健福祉士	皇学館大学	1	13
職業体験	稲葉特別支援学校	1	5
看護師	津看護専門学校	22	5
	三重大学医学部看護学科 3回生	81	8
	三重大学医学部看護学科 4回生	5	3
合計	3箇所	110	34

2 研修の受入

機関・施設名	実人員	日数
受入無し		

3 見学の受入

機関・施設名	実人員	日数
受入無し		

4 ボランティアの受入

ボランティア内容	実人員	日数
受入無し		

令和2年度 研修委員会報告

1 総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、外部研修が例年より少なかったため、内部研修の充実を図った。「接遇研修」「虐待研修」に加え、精神障がい者の支援に欠かせない薬に関する研修を企画した。外部より講師を招いて精神科の薬についての知識を学び、精神疾患への理解と病理への知識、スキルを上げていくことで、利用者の安定した地域生活の継続が可能であることを再確認した。また、全体研修を通して情報交換もでき、職員一人ひとりの仕事への意欲やサービスの向上につながった。

職員向けアンケートにより「精神障がい者の理解と対応」についての研修会開催希望や、オンライン研修に係る機材の準備等課題を残したので、次年度の申し送りとしたい。

2 令和2年度 外部研修参加一覧

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
1	6	22・30	令和2年度障害福祉サービス事業所集団指導	三重県福祉監査室	2
2	9	1.2	キャリアパス対応生涯研修課程「中堅職員コース」	三重県社会福祉協議会	1
3	9	10・11	キャリアパス対応生涯研修課程「中堅職員コース」	三重県社会福祉協議会	1
4	9	24	人材育成研修1 生活保護制度	津市基幹型障がい者相談支援センター	1
5	9	25	事例検討と新たなサービスを考える	津地域精神保健福祉連絡協議会 (こころ津むぎねっと)	1
6	9	30	人材育成研修1 生活保護制度	津市基幹型障がい者相談支援センター	1
7	10	1	社会福祉施設における感染症対策	三重県社会福祉協議会	1
8	10	1	三重県サービス管理責任者基礎研修①相談支援	三重県社会福祉協議会	1
9	10	1	社会福祉施設における感染症対策	三重県社会福祉協議会	1
10	10	15	食品衛生責任者再講習会	三重県食品衛生協会	1
11	10	22	三重県サービス管理責任者基礎研修②講義	三重県社会福祉協議会	1
12	10	30	財務分析 決算書の見方・指標の味方	三重県社会福祉協議会	1
13	11	5	三重県サービス管理責任者基礎研修③演習	三重県社会福祉協議会	1
14	11	10	人材育成研修2 障害年金について	津市基幹型障がい者相談支援センター	1

15	11	11	食品衛生責任者再講習会	三重県食品衛生協会	2
16	11	30～ 12.1	キャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」	三重県社会福祉協議会	1
17	12	15・16	キャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」	三重県社会福祉協議会	1
18	12	22	人材育成研修3 「措置通報制度」について学ぶ	津市基幹型障がい者相談支援センター	1
19	3	1	「働き方改革」関連法に関する説明	三重労働局	1
20	3	6	南海トラフ地震 防災・減災シンポジウム2021	気象庁・津地方気象台	1
				合計	22

3 令和2年度 内部研修参加一覧

No	実施日		研修名	講師・	人員
	月	日			
1	4	21	管理者研修① 超過勤務及び振替休日	前田 順子	5
2	5 6	19 11	管理者研修② サービス管理	サービス管理責任者	9
3	6	4	管理者研修③ リスクマネジメント	研修委員会 危機管理委員	8
4	7	22	精神保健福祉基礎研修	河戸 真澄 研修委員会	3
5	9	23	虐待対応について	宮本 通生	28
6	11	19	精神科の薬を学ぼう	精神科専門薬剤師 中村 友喜氏	18
7	1	28	接遇を身につけるために	斎藤 由紀子 萩原 真衣	18
8	2	15	管理者研修④ 事業計画と会計の理解	税理士 山口 晃氏	11
				合計	100

虐待対応と接遇研修は、伝達を行い全員に研修を行った。

令和2年度 「苦情解決委員会」 報告

1. 苦情集計

発生月	件数		
4月	5	内 容	クローバーハウス作業時、コロナウイルス感染症対策が不十分である。
		改善策	作業時、密にならないよう交互に座るようにする。消毒液を設置、手指の消毒の徹底します。窓は常時開放し、換気をします。
		内 容	いすず亭での利用者様への指導方法が良くない。
		改善策	静かに落ち着いて指導します。最初に職員が見本を見せて、作業を提示します。わかりやすく、何度も教える事を徹底します。
		内 容	いちいち僕にあいさつがうるさい。ほっといて欲しい。
		改善策	利用者様それぞれの特性があり、耳を押さえる等のご本人の様子を見ながら対応します。
		内 容	パンのシーラーがひどい。
		改善策	今後一つずつ全てのパンを確認します。
5月	1	内 容	5月21日の夕食の外注弁当が鶏肉が半生で硬くまじかった。
		改善策	外注弁当を仕入れる店を変更します。
6月	4	内 容	職員がいすず工房の作業を途中で投げ出す。
		改善策	作業前に時間の区切りを明確にし、取り組みます。
		内 容	職員のなずなサービスの接客マナーが悪い。 いすず亭の片づけを最後までして欲しい。
		改善策	事業所内で接客マナーについての研修を行い、サービスの向上を図ります。 利用者様と職員の役割分担について、明確にしていきます。
		内 容	特定の職員と以前自分と嫌なことがあったので、顔も見たくない。
		改善策	匿名の為、具体的な内容がわかりませんので、御不満なことがあれば話をお聞きますので仰ってください。
7月	3	内 容	昼休みクローバーハウスのエアコンを暑いので切らないで欲しい。
		改善策	早朝から換気を行った後、作業前（1時間程度）にエアコン入れ、 日中高温時はエアコンを切らず、窓は少し開け換気を行うようにします。
		内 容	GH夜勤の巡回方法が悪く、とても怖かった。（懐中電灯で顔を照らす）
		改善策	安否確認の為、必要なのでドアは開けますが、今後は静かに閉めるようにします。懐中電灯（大）は上向きにしまぶしくない様にします。
		内 容	職員が昼食時、決めつけた言い方をする。
改善策	担当職員は勝手な思い込みをせず、利用者様の気持ちをその都度確認し希望に沿うようにします。		

8月	2	内 容	職員Aさんがすぐ怒る、怒鳴るので辞めて欲しい。
		改善策	該当職員に厳重注意し、言動を改めさせ、他職員にも同様に徹底します。
		内 容	サンドイッチのカツサンドが硬くてたべにくい。
		改善策	今後は他の柔らかい具材を検討します。
9月	4	内 容	利用者Aさんに足を踏まれて困る。
		改善策	本人と面談し、人の嫌がることをしないように約束しました。
		内 容	食事の量が多く完食できない。
		改善策	盛り付け量は均等に行っている為、小食の利用者様は残してください。
		内 容	クローバーハウスのパンの賞味期限を5日にして欲しい。
		改善策	保存料等の添加物を一切使用していない為、期限を延ばすことができません。
		内 容	10：50には所定の場所に販売用のパンを置いて欲しい。 和み部屋にフランス系のパンを入れて欲しい。
		改善策	今後は必ず所定の時間に出すようにします。 和み部屋の販売日にはフランス系のパンを多めに製造するようにします。
10月	6	内 容	利用者Aさんと相性が悪い。
		改善策	職員が間に入り、お互いに謝りあい良い関係が築けるように見守ります。
		内 容	白身魚が生臭い。火がとおっていない。
		改善策	臭みの少ない調理方法を検討します。調理時、中まで火がとおっていることを確認します。魚の切り身は均等に切ってから調理します。
		内 容	カレーが以前と比べて美味しくなくなった。
		改善策	煮込み時間の見直しをします。確認方法を二人で行います。
		内 容	うどんのつゆがぬるい。つゆの味がいつもと違った。
		改善策	今後は規定通りつゆをはかり、提供前までつゆを温かくし、お出しします。
		内 容	ランチの春巻きがべたべたして油っぽかった。
		改善策	油の温度や油切りに注意し揚げるようにします。
11月	5	内 容	喫茶待夢のメニューに書いてあるスープが提供されなかった。
		改善策	利用者様用のメニューと待夢用のメニューは違う。誤って、利用者様用のメニューを掲示してしまったので提供メニューの齟齬が起きた。 しっかり内容を確認して掲示していきます。
		内 容	昼食の副菜がどろどろとしており、食べ応えがなかった。
		改善策	調理時間を見直し、味付けや盛り付けに気を付けていきます。
		内 容	明太子パンにきざみのりがかけていなかった。
		改善策	製造時、袋入れの時にチェックを徹底します。
		内 容	コンビニから夢の郷公用車が出ていきました。公用車でコンビニに寄らない約束ではなかったですか？
		改善策	公用車でコンビニに入らないよう、職員に再度指導を行いました。
		内 容	月に1回は唐揚げをメニューに入れて欲しい。
改善策	12月からメニューに入れるようにします。		

12月	4	内 容	利用者さんの工賃明細が本人に渡っておらず、鍵のないロッカーに入っていた。
		改善策	必ずご本人様に明細書を手渡しをすることを遵守します。
		内 容	朝食の野菜ジュースを冷やしたものを出してほしい。
		改善策	今後は冷やして提供いたします。
		内 容	GHのトイレにウォシュレットをつけてほしい。
		改善策	導入を検討し、今年度中に実施します。
		内 容	パンセットのレーズン食パンに殆どレーズンが入っていなかった。
改善策	製造時にレーズンを生地をしっかり混ぜ込み、分割時や袋入れ時にも確認します。		
1月	3	内 容	パン納品先から、契約では25個と決まっているのに、本日は18個。納品数にばらつきがあるのは何故ですか。
		改善策	製造表が間違っていました。仕分け、配達時にもチェックを徹底します。
		内 容	生きがいである、自販機のドデカミンをなくした理由を聞かせてほしい。
		改善策	利用者様の健康を考え、一番糖分の多いドデカミンをなくしました。
		内 容	部屋を塩で清めて欲しい。
改善策	困っていることを傾聴し、安心して過ごせるよう訪問看護師と連携していく。		
2月	2	内 容	パンのラベル出しを他の利用者に出してと言われ困っている。
		改善策	これからは職員に伝えてもらうよう致します。
		内 容	土曜日の開設日に、お風呂の予定をして欲しい。
		改善策	土曜日はアンダンテの開設が無い為今後も入浴はありません。
3月	5	内 容	GHとクローバーハウスに〇〇さんを連れて連れてこないで欲しい。
		改善策	どの支援者もスキルを上げる為の研修をしております。お気づきのことが相談窓口、及び担当者にお申し出ください。
		内 容	2階のトイレの換気扇が止まっていて臭い。
		改善策	定期的に見回りをし、常時換気扇を回します。
		内 容	アンダンテの風呂の順番が違っていました。
		改善策	今後順番票をしっかりチェックします。
		内 容	交差点での運転が危険です。右折で割り込んできた。
		改善策	送迎や配達で公用車を使用する全職員に安全運転を徹底した。
内 容	パンを一度に沢山買って行く人がいる。平等に買えるようにして欲しい。		
改善策	職員が立ち会い、声掛けをし平等に購入いただける様努める。		

2. 苦情委員会報告

第1回	4月 30日	苦情申し出窓口設置についての通知 第1回苦情解決委員会 / 苦情検討5
第2回	5月 7日	運営会議報告
第3回	5月 28日	第2回苦情解決委員会 / 苦情検討1
—	6月 2日	苦情解決結果の掲示（報告）
第4回	6月 4日	運営会議報告
第5回	6月 12日	苦情申し出窓口設置についての通知 （評議員会にて第3者委員変更承認されたためによるもの）
第6回	6月 25日	第3回苦情解決委員会 / 苦情検討4
第7回	7月 2日	運営会議報告
第8回	7月 30日	第4回苦情解決委員会 / 苦情検討3
第9回	7月 3日	苦情解決結果の掲示（報告）
第10回	8月 6日	運営会議報告
第11回	8月 27日	第5回苦情解決委員会 / 苦情検討2
—	8月 31日	苦情解決結果の掲示（報告）
第13回	9月 3日	運営会議報告
—	9月 18日	法人内「虐待研修」に参加
第14回	9月 28日	第6回苦情解決委員会 / 苦情検討4
第15回	10月 1日	運営会議報告
第16回	10月 29日	第7回苦情解決委員会 / 苦情検討6
—	11月 25日	苦情解決結果の掲示（報告）
第17回	11月 30日	第8回苦情解決委員会 / 苦情検討5
第18回	12月 3日	運営会議報告
—	12月 17日	苦情解決結果の掲示（報告）
第19回	12月 24日	第9回苦情解決委員会 / 苦情検討4
第20回	1月 6日	運営会議報告
第21回	1月 28日	第10回苦情解決委員会 / 苦情検討3
第22回	2月 4日	運営会議報告
—	2月 22日	苦情解決結果の掲示（報告）
第23回	2月 25日	第11回苦情解決委員会 / 苦情検討2
第24回	3月 4日	運営会議報告
第25回	3月 29日	第12回苦情解決委員会 / 苦情検討5

令和2年度「危機管理委員会」事業報告

ヒヤリハット

月	件数	事業所	内容	改善策
4	1	厨房	内容	発注ミス 昼食、夕食の発注時にメニュー選択ミスによりメニューの間違いが生じた。
			改善策	メニュー、発注数など読み合わせ時に第三者が点検する。
5	1	厨房	内容	メニュー変更 てしおフーズからのメニュー変更が来ていたが旧メニューから変更されなかった。
			改善策	給食委員会での役割分担を明確にして、注文の手順を明確にする。気が付いたらすぐに周知、報告をする。
7	2	朝海ハイム宿泊	内容	食数不足 翌日の朝食数が一名分不足が生じた。発注数は正しかったが、受け取り時の数量確認が出来てなかった。
		改善策	仕分け担当、確認者を別にする。食材受け取り時の担当を決め数量の確認をする。	
	いすず工房	内容	工賃の入金 藤井加工5月分の入金がないと経理より連絡があった。工場の机から明細と現金が出てきた。	
		改善策	現金受け取り後すぐに出納職員に渡し、処理をする。現金は金庫に保管する。業務の担当を決める。	
8	2	朝海ハイム	内容	紛失 ロッカーに入れていた保険証、障がい者手帳が紛失した。翌日他利用者から発見の報告があった。
		改善策	貴重品はロッカーに入れないことを再度徹底した。貴重品は個々で管理するルールを徹底する。	
	いすず工房	内容	無断外出 本人が幻聴で買い物に行きたいと訴えあり止めていた。昼休憩で外出して買い物をした。	
		改善策	休憩時で見守りができない時は出入口付近で休憩する当番を決める。	
9	2	朝海ハイム	内容	誤薬 前日の受診で眠前薬1錠追加されたが夜勤者に伝わらずに本人からの訴えで判明した。
		改善策	薬の容器に担当者がセットしてなかった。薬の変更を夜勤者にもわかるよう一覧表を作成する。	
	朝海ハイム	内容	転倒 入浴時支援者が背中のおさを発見。本人確認すると生活介護のトイレに慣れてなくてふらつき背中を打った。	
		改善策	トイレ使用時手すりを持つよう指導した。GHでのトイレの手すり有無など確認した。	
10	1	朝海ハイム	内容	砂糖の入れ忘れ 和み部屋販売の玉子焼きの砂糖を入れ忘れた。入れたつもりで勘違いした。
		改善策	手順書に沿って調理する。いつも同じ味を提供する。味見等の方法を検討する事。	
11	3	朝海ハイム	内容	浴室シャワー温度 利用者入浴後、浴室のシャワーが水であったと報告あり。利用者には風邪予防で一枚多く来てもらった。
		改善策	入浴お湯はりの手順書作成。入浴前、入浴後の温度設定を確認する。	
	厨房	内容	員数不足 朝食用のみそ汁が不足している連絡あり。すぐに補充の買出しに行った。	
		改善策	メニュー表と合わせ在庫の把握、確認、管理する。買い物リストの点検を徹底する。	
	朝海ハイム	内容	物品の紛失・移動 昼休み中ロッカー室からハンドクリームが紛失の訴えあり。ロッカー室の中にあった。	
		改善策	以前よりロッカー室の紛失、移動があった。私物は毎日持ち帰る。	
12	4	朝海ハイム	内容	異物混入 和み部屋販売のたこ焼きに異物が付着があった。たこ焼きソースを塗る刷毛が付着した。
		改善策	刷毛の使用を止め直接ソースを塗る。出荷前の点検、確認を必ず行う。	
	朝海ハイム	内容	転倒 入浴後着替え時バランス崩し後ろに転倒しかけた。入浴介助、見守りしていたため転倒に至らなかった。	
		改善策	更衣室に椅子(背もたれ、ひじ掛け付き)を購入して設置する。	
	朝海ハイム	内容	コップの欠損 陶器製のコップが割れているとGH職員に訴えが有り。	
		改善策	GHでも陶器製のコップを使用せずプラスチック製に変更した。	
朝海ハイム	内容	物品の紛失・移動 自分のティッシュが他利用者のロッカーにくしゃくしゃで入っていた。		
	改善策	以前よりロッカー内の紛失・移動があり、ロッカーに入れるもの自己管理を徹底した。カメラの設置を検討		
1	1	いすず工房生活介護	内容	けが 左手中指爪の割れの訴えあり。微量出血あり。バンドエイドで対応。爪の伸びてひっかける。
			改善策	爪が長くならないうちに爪を自分で切るよう助言し、見守る。
計	13			

事故報告

件数			
4	4	いすゞ 工房	内容 外部クレーム 中尾製作所よりヒンジパンポン貼り忘れ。700/1000個。生活介護軽作業での作業チェック忘れ 改善策 生活介護、軽作業の手順マニュアル作成。当日の生活介護職員が最終チェックを行う。
		いすゞ 工房	内容 けが 広住製作所プレート作業中に右手人差し指に切り傷。バンドエイドで対応した。 改善策 手袋、指サックなどの保護具を使用する。利用者の安全確保意識の向上。作業前の声掛けを行う。
	いすゞ 厨房	内容 電灯消し忘れ いすゞ工房の厨房電気を消し忘れていた。翌朝に判明した。 改善策 点検表に惰性でチェックしていた。火元確認表に基づきやった事のみチェックする。	
		クロー バーハ ウス	内容 利用者間トラ ブル 休憩時間に利用者間で口論。悪口を言われていると思ひ込みとコロナで双方にストレスがあった。 改善策 同一の作業にならないよう別々にする。作業、休憩時間に距離を取る。仲直りの方法検討する。
	5	朝海ハ イム	内容 薬紛失 厨房の鍵をかけ忘れ朝海厨房に置いていた薬箱から朝食後の薬が紛失。残薬から手渡し、服用した。 改善策 前年にも薬紛失があった。薬の袋から箱に変更した。各部屋の施錠を徹底する。マニュアル通りの作業を徹底する。
いすゞ 工房			内容 数量間違い 広住製作所より数量間違いあったこと連絡あり。正規20枚→19枚、21枚。各事業所で作業している。 改善策 各事業所に員数間違いを連絡・報告した。指定秤で確認する。箱詰め前最終検査を職員が行う。Wチェックする。
朝海ハ イム		内容 誤薬 昼食後薬を取り間違えて服薬した。作業手順「薬を確認し本人に直接手渡しして服薬確認する。」 改善策 手順では昼食後職員が薬箱から取り出し、名前確認後手渡し後服薬確認する。職員は持ち場を離れない	
		いすゞ 厨房	内容 空炊き うどんの大ガマの栓が不完全で水が漏れ10分程度空炊き状態になった。 改善策 水張後に蓋を開け水漏れを確認して点火する。後途中再確認をする。職員間で状況を共有する。
いすゞ 工房		内容 送迎 午後の送迎時利用者が一人乗っていない状態で出発した。利用者に待ってもらい至急送迎した。 改善策 休みや、早帰りなどの連絡が職員間で連絡が不十分。利用者数、曜日の確認、連絡を徹底する。見送りを確実にする。	
		朝海ハ イム	内容 他利用者に確認すると休みであると伝言があった。 改善策 事業者間、職員間の連絡が出来ていなかった。人員確認時必ず職員に確認する。
6		2	いすゞ 厨房
	クロー バーハ ウス		内容 車事故 ゴミ集積所前、荷物の積み下ろし後に車両移動時左側面をこすった。スペースが狭かった。 改善策 狭いスペースでの移動は周囲の安全確認をして慎重に運転する。
7	2	朝海ハ イム	内容 薬の紛失 朝食後の定期薬2名分の内1名分を紛失した。宿直室の施錠を忘れた。 改善策 薬の保管場所の施錠を徹底する。薬手渡し時は直前に薬箱の移動をする。薬の有無の確認を事前に行うことを徹底する。
		GH あすか	内容 転倒 夜勤者との同行を待たず一人で出かけた。アンダンテ玄関前で転倒。両手、左ひざ擦過傷。応急処置後受診した。 改善策 高齢者が増え転倒リスクが増加している。危険箇所、サポート体制、情報共有をして、必ず一人一人の見守りを徹底する。
8	7	いすゞ 工房	内容 鍵の紛失、扉 破損 工房のサッシ扉の鍵がなかった。サッシ扉を無理に開けようとして、ガラスが割れた。 改善策 鍵(予備キー)の保管場所、保管方法を検討する。無理やり開けようとせず二次災害を防ぐ。
			朝海ハ イム
	朝海ハ イム	内容 誤薬 定期薬手渡し時薬を取り違えて渡してしまった。 改善策 手渡し時に本人の氏名を呼び確認を必ず行う。服薬マニュアルの見直し。職員全員に徹底する。	
		GH あすか	内容 救急搬送 発熱、立ち上がれない。三重中央HP救急車搬送。家族(姉)に連絡。CT検査の為入院 改善策 保険証などの本人持ちの場所が不明。救急搬送マニュアルに沿った訓練も必要。
	クロー バーハ	内容 表示シール間 違い 「フランスあんパン」に「フランスパン」のシールを貼り間違え販売した。	

		ウス	改善策	袋とシールの枚数のチェック。中身のチェック。職員による3度目チェック。チェック体制の徹底。
		クローバーハウス	内容	製品の濡れ 雨天時の納品時部品に雨がかり濡れてしまった。納品先より苦情有。
		クローバーハウス	改善策	段ボールやタオルなどで濡れ対策をする。不意の雨などの対応が必要。車に段ボール、タオルなどを積んでおく。
		いすゞ工房	内容	服薬忘れ 利用者の薬(錠剤)が落ちているのを発見。服薬時確実な服薬確認ができていなかった。
			改善策	職員は必ず手渡し後に服薬を見守り確実に服薬したことを確認する。職員間で声掛けして対応する。
9	6	クローバーハウス	内容	不良品混入 広住製作所納品部品に変形した部品が混入していた。
			改善策	不良品混入防止の作業手順の説明受ける。不良品をよける。プレート20枚揃えて袋に入れる前に3ヶ所を目視確認する。
		クローバーハウス	内容	製品の濡れ 朝、納品した部品1袋と箱に敷いた新聞紙が濡れていた。8月にもあり再発
			改善策	ビニールシートなどで保護していたが後部扉から水滴が漏れた。納品時雨天時だけでなく様々な可能性を想定する。
		朝海ハイム	内容	誤薬 利用者から昼食後の薬に歯科の薬がない事訴えあり。クローバーハウス利用者の薬に間違えて付けた。
			改善策	思い込みで他利用者の薬に添付した。別な職員が必ず2重チェックする。
	朝海ハイム	内容	無断外出 居室入りロアの蹴とばしガラスを割る。状況確認中に外に飛び出し足が速く追いつけなかった。110番通報	
		改善策	母親が津南警察署へ捜索願を出す。Pm10:20本人施設に戻る。母親が携帯を解約したこと本人に伝える。	
	クローバーハウス	内容	その他 缶詰パンのカップ紙が詰まり取り出しにくいと連絡あり。	
		改善策	正しい発酵状態で焼き、適正な大きさになるようにする。大きくなったパンは逆に入れて紙の挟まりを防ぐ。	
	いすゞ工房	内容	受給者証期限切れ サービス種目が8月1日より生活介護に変更。8月3、4、6日のいすゞ工房の利用請求が出来なかった。	
		改善策	受給者証の変更が届いたら、事業所管理者・利用者担当が変更箇所の確認と計画相談に連絡する。	
10	5	朝海ハイム	内容	動画の閲覧 利用者の要望で昼の休憩時に携帯動画を見せてしまった。
			改善策	利用者の要望に対し良否の判断が出来ない場合責任者に相談、確認をする。報、連、相を念頭に業務を行う。
	GH	内容	事故破損 通院同行時、B皮膚科駐車場から出ようとして右後部ドアが石柱に接触し傷をつけた。	
		改善策	普段通行しない道路、駐車場は障害物などに注意して慎重に運転する。	
	GHあすか	内容	誤薬 出勤時すでに夕食が始まっていて、他利用者の定期薬の袋を破り手のひらに置き服用確認。後で薬の間違いに気付く。	
		改善策	多忙であっても薬袋と利用者の名前を確認して、手渡し、服用の確認をする。	
朝海ハイム	内容	トラブル(口喧嘩) 利用者間で作業中に怒って工具を投げ捨て、退席した。以前にも同様の事があった。		
	改善策	二人が同じ空間で作業しないように支援する。作業中は私語がないように見守り作業に集中する。休憩中も同様にする。		
いすゞ工房	内容	利用者火傷 IHコンロのスイッチが間違っ入っていて、横の鍋が熱くなった鍋を持ってしまった。		
	改善策	三口あるヒーターの中央のスイッチが入らないようテープを貼り点火できないようにした。利用者の見守りを確実にを行う。		
11	2	いすゞ工房	内容	屋食の苦情 パスタの長さがぶつぶつで食べにくかった。厨房担当が初心者であった為手順書の内容が理解できなかった。
			改善策	厨房担当者が固定されていない。固定する方向で検討。メニュー手順を確実に指導する。
		朝海ハイム	内容	器物破損 利用者が朝海ハイム洗濯室のドアを蹴りガラス割れ破損した。ストレス、幻聴、妄想による衝動的な行動。
			改善策	こころの医療センターに医療保護入院した。入所後2ヶ月で他利用者との関りによるストレス。職員間の情報共有連携をする。
12	1	GHあすか	内容	救急搬送 肝臓がんから多臓器不全で緩和ケアで短期入所。嘔吐、失便が続き三重中央病院に緊急入院した。
			改善策	年末でスタッフ配置が薄かったが救急マニュアルと本人の情報提供が出来ていた。
1	4	クローバーハウス	内容	誤配 久居みのり店に火曜日休みにパンを配達した。休日の連絡が製造担当者に伝わってなかった。
			改善策	休日などの連絡を伝言板、連絡ノート江尾作成する。情報が事業所内で共有する。
		クローバーハウス	内容	注文漏れ ファックスなどで来ていたパンセットの注文が連絡ミスで配達できなかった。
			改善策	注文票を目立った場所に置く。金曜日に注文があることを確認して最初に処理する。
朝海ハイム	内容	異物混入 ボディーソープにバスマジックリンが入っていた。体をお湯で流してかゆみ止めクリームを塗り高茶屋診療所を受診した。		
	改善策	バスマジックリンなど刺激臭の強い洗剤を洗い場に置かない。浴室にはシャンプー、ボディーソープ以外置かない。GHも同様にする。		

		GH 朝海Ⅱ	内容	無断外出 朝7時に夜間支援従事者より本人不在の連絡あり。近所を捜索し見つからなかった。警察に連絡。
			改善策	脅迫される夢を見て地域内を歩き回った。警察より始まりだとの認識で施設で探す前に早く通報してほしいと言われた。携帯電話を持つことになった。
2	1	朝海ハイム	内容	紛失(いたずら) 給茶機(キーパー)横に置いてあったコップが無くなった。周囲を探しゴミ箱から発見
			改善策	他者が故意に投機したと推察。コップを置きっぱなしにしないよう説明。他利用者にも自分の品物を管理するよう説明。
3	2	朝海ハイム	内容	地域徘徊 休日午前中外出して戻ってこないと他の利用者より連絡あり。れんげの郷周辺で発見。入所間もない
			改善策	土日は朝海ハイム玄関を施錠する。利用者には外出ルールを再度説明した。
		クローバーハウス	内容	怪我 休憩時、手袋をつけずに部品を補充しようとして指を切った。出血が止まらず病院で手当てを受けた。
			改善策	部品の管理は職員が責任をもって行き、見守りがないうきには作業場に出さないようにした。
計	41			

令和2年度「広報委員会」報告

1 「夢まつり」について

「夢まつり」は、例年3月の第一金曜日開催を恒例としていましたが、新型コロナウイルス感染症が蔓延し全国・三重県・地元津市内でも多数の感染者が発生しており、誰でも感染しやすい状況で日常生活を送っています。

しかし、コロナ感染症の切り札として期待されるワクチン接種も国民に幅広く実施されていません。

当法人として、「夢まつり」を開催してお集まりいただく多くの来場者・利用者・職員について、十分な感染防止対策を講じることは困難であると判断しました。

このため昨年度と同様に「夢まつり」の開催は中止することといたしました。

2 「夢つうしん」について

「夢つうしん」は、例年2回発行していましたが、発行できませんでした。

3 ホームページの更新について

令和元年度の決算関係書類、事業報告書、財産目録、現況報告書、法人定款、役員報酬基準、監事監査報告書を掲載しました。

4 年賀状について

日頃からお世話になっている関係者及び関係機関等に送付しました。

令和2年度「給食委員会」事業報告

1 総括

各事業所利用者の食のニーズを聴きとり、嗜好に合った食事を提供した。
当番事業所による検食結果を検討し、メニューの改善に努めた。
厨房内整理整頓に努め、異物混入の防止に努めた。
チェック表による厨房の衛生管理を行い、食中毒を予防に努めた。
咀嚼や嚥下が困難な人への対応を検討し、食べやすい食事への工夫をした。
健康を考えた食事を提供出来るように努めた。
夕食にお楽しみメニューを取り入れ、利用者と共に調理を行った。
カレーの試食とアンケートを実施して、調理方法の改善を図った。

2 会議の協議内容

前月の昼食・夕食検食結果について
次月のメニュー・行事メニュー検討
各事業所より提案や意見を検討
その他、緊急の課題について

3 課題、及び次年度への申し送り

- ・食と健康のため食通信の発行を提案
- ・利用者様全員にアンケートを取る
- ・お楽しみメニューの継続
- ・地域の旬の野菜等材料購入について
- ・朝食パン

4 今年度給食会議開催状況と検討内容

No	月	日	検討内容
1	4	8	給食メニュー(朝・昼・夕)作成 委員会の1ヶ月の業務スケジュール 給食に関する発注の手順
2		22	委員会の役割分担について 厨房業務の引継ぎ
3	5	12	厨房の業務と一週間の役割分担について
4		20	各事業所から給食への要望と対応 朝食メニューのバリエーションについてクローバーハウスに要望
5		28	委員会の進め方と給食会議の日程変更。
6	6	18	食中毒予防強化 冷蔵・冷凍庫、食品庫の食材管理と衛生指導
			会議に委員が集まりやすい時間への提案について
			事業所管理者の会議参加による意見や要望の聞き取りについて
7	7	16	価格にあった朝食メニューへの見直し
8	8	18	朝食へのご飯メニューについて 新型コロナウイルス時の食事提供方法について
9	9	17	朝食のご飯メニューを1日(火)追加することについて 月に1回お楽しみメニューの企画について
10	10	13	今後の厨房業務について タイムスケジュールおよびレシピ作成について
11		19	11月よりの厨房業務の変更について 月曜日・火～金曜日の調理の業務分担と手順について
12	11	9	朝食・クリスマス・正月メニューのについて
			給食委員会の進行と会議の在り方について
13	12	11	高血圧・糖尿病等持病のある利用者への給食対応
14	1	15	厨房冷蔵庫・冷凍庫・食品庫内の食材棚卸について
15	2	12	季節を取り入れたり行事に対応したメニューについて
			冷蔵庫内温度計の設置を確認
16	3	12	食事の仕分け及び朝食パンの納品状況への提案・要望 今年後の委員会振り返りと次年度委員会への引継ぎ事項について
17	3	23	令和2年度事業報告について

令和2年度 協力医療機関訪問実施報告

1 みえ医療生活協同組合高茶屋診療所

1 健康講話

宮崎医師及び看護師等による健康に関する講話
 利用者及び職員からの質疑応答
 医療実習生との交流
 地域で暮らす単身生活者への健康への意識向上
 受診への不安解消と早期の治療開始

2 定期訪問

インフルエンザ予防接種と予診

3 講話テーマと参加人数

*第3水曜日開催

月	講話テーマ	参加者数
4	新型コロナウイルス感染症防止の為打ち合わせ	4
5	新型コロナウイルスについて一緒に考えよう	22
6	食中毒	20
7	熱中症	25
8	夏バテ予防	22
9	新型コロナウイルス感染症防止の為打ち合わせ	2
10	新型コロナウイルス感染症防止の為打ち合わせ	2
11	感染症対策（コロナ・インフルエンザ含む）	14
	インフルエンザ予防接種	106
12	糖尿病予防	28
1	感染症予防	20
2	花粉症	29
3	新型コロナウイルスワクチンについて	25
合計		319

2 協力医療機関 ナカハマデンタル

1 歯科検診

宿泊型生活訓練・グループホーム利用者全員の健診

2 定期訪問

中浜歯科医師の定期診療と治療

個別の歯磨き指導

3 歯の衛生・嚥下に関する指導

リーフレットによる歯磨きの必要と磨き方の講習

歯の衛生管理に関する講話

歯磨き指導

嚥下体操講習

2 治療および指導参加人員及び受診者数

月	治療およびケアの内容	訪問回数	治療者延数
4	歯科検診 (無料検診)	2	2 3
	口腔ケア・歯磨き指導	3	6 0
5	口腔ケア・歯磨き指導 義歯調整	4	4 9
6	口腔ケア・歯磨き指導	4	7 2
7	口腔ケア・歯磨き指導・歯石取り	4	6 2
8	口腔ケア・歯磨き指導・	3	4 2
9	口腔ケア・歯磨き指導・歯石取り	4	5 4
1 0	口腔ケア・歯磨き指導	5	6 5
1 1	歯磨き指導・定期健診・歯石取り	4	5 1
1 2	口腔ケア・歯磨き指導・	4	4 9
1	口腔ケア・歯磨き指導・歯石取り	4	6 0
2	口腔ケア・歯磨き指導・	3	4 4
3	口腔ケア 歯磨き指導・歯石取り	4	5 5
	合計	4 8	6 8 6

令和2年度 「法人本部」事業報告

1 役員(理事・監事)、評議員及び評議員選任・解任委員の任期等について

- ・ 役員(理事6名・監事2名)、評議員(定数7名)、評議員選任・解任委員評議員(定数4名)の任期は、令和3年(2021)6月開催の定時評議員会終結時まで
- ・ 令和2年11月7日新評議員1名を任命 評議員の死亡による

2 理事会、評議員会等の運営状況について

開催月日	会議名	審議事項
5月18日	令和元年度 監事監査	中森監事が経理関係、藤澤監事が法人運営関係を監査し、適正であるとの監査報告を受けました。
5月22日	第1回理事会	【報告事項】 ①令和元年度の事業報告について 【決議事項】 ①令和元年度の決算書類の承認について ②令和元年度の監事監査結果について ③令和2年度の社会福祉充実計画について ④定時評議員会の開催日時・議案について *全議案が承認されました。
6月12日	定時評議員会	【報告事項】 ①令和元年度の事業報告について 【決議事項】 ①令和元年度の計算書類、財産目録の承認について ②令和2年度の社会福祉充実計画について *全議案が承認されました。
10月21日	第2回理事会 (理事会開催省略)	評議員死亡に伴う後任評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について 全理事から「同意書」、監事から「異議確認書」を受領し、北方むつみ氏を後任評議員候補者として決定しました。 *理事会開催を省略するみなし決議手続を行いました。
11月7日	評議員選任・解任委員会	北方むつみ氏が後任評議員として選任され、理事長より評議員委嘱状を交付しました。
12月10日	第3回理事会	【報告事項】 ①令和2年度事業進捗状況(4月～11月)について ②評議員選任・解任委員会の結果について 【報告事項】 ①令和2年度事業進捗状況(4月～11月)について ②評議員選任・解任委員会の結果について

12月21日	第2回評議員会	【報告事項】 ①令和2年度事業進捗状況（4月～11月）について 【決議事項】 ①令和2年度第一次補正予算について ＊全議案が承認されました。
3月12日	第4回理事会	【報告事項】 ①令和2年度事業進捗状況（4月～2月）について 【決議事項】 ①令和2年度第二次補正予算について ②令和3年度事業計画について ③令和3年度当初予算について ④第3回評議員会の開催日時・議案について ⑤令和3年度管理者について ⑥定款変更について ⑦規程・規則等の改正について ＊全議案が承認されました。
3月22日	第3回議員会	【報告事項】 ①令和2年度事業進捗状況（4月～2月）について 【決議事項】 ①令和2年度第二次補正予算について ②令和3年度事業計画について ③令和3年度当初予算について ④定款変更について ＊全議案が承認されました。

3 法人本部の運営状況について

- 1 理事会、評議員会を招集し、議案等の承認を受け議事録を作成しました。
- 2 法人全体及び各事業所の財務書類を作成し、ホームページで情報開示しました。
- 3 法人全体及び各事業所の利用者、収支状況等に関する資料を、理事会や運営会議等に提供しました。
- 4 職員管理（採用、異動、給与等）とともに、給与・賃金アップを行いました。
- 5 職員確保について、ハローワーク等で求人募集を行いました。若手職員及び専門職員の確保はできませんでした。
- 6 社会福祉充実計画実現のため、『隣接県有地』を一般競争入札により取得しました。
- 7 働き方改革に対応するため、職員就業規程、有期職員就業規則、職員給与規程等の改正を行いました。

令和2年度 「朝海ハイム」 事業報告

宿泊型自立訓練事業（定員10名）

生活介護事業（定員20名）

1 総括

① 宿泊型自立訓練事業

- ・ 体験利用を重ねることで、病院からの地域移行が進んだが再入院も多かった。
- ・ 宿泊型自立訓練の結果、グループホームへの移行や在宅での生活が可能になった。
- ・ 訓練終了後の住まいについて、多様な暮らし方を提案した。

② 生活介護事業

- ・ 日々の入浴や決まった時間の食事と服薬で、安定した清潔な暮らしが継続できた。
- ・ 送迎等のサービスを受けることにより仲間との生活や暮らしにリズムができた。
- ・ 軽作業（クッキー・部品・和み部屋販売）への参加で社会参加ができた。
- ・ 医師講話や看護師の指導を受け健康な暮らしへの意識が高まった。
- ・ 訪問歯科受診により、歯磨き習慣が身についた。

2 年間延利用者（開設日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宿泊型 自立訓練	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	開設365日
	7	7	7	5	5	6	7	7	5	6	7	6	延実数75人
	210	217	181	124	133	171	198	151	149	169	184	186	延2,073人
生活介護	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	開設269日
	17	16	16	15	14	15	17	17	13	14	15	15	延実数184人
	307	314	308	266	242	288	313	269	261	267	271	316	延3,422人

平均利用者数 宿泊型自立訓練 5.7人 生活介護事業 12.8人

3 地域別利用者数（人）（2年4月1日～3月31日）

	津市	亀山	松阪	尾鷲	熊野	名張	志摩市	御浜	鳥羽	伊勢	計
宿泊型 自立訓練	8		1		1	2		1	1	1	15
生活介護	18	1		1	1	1	1		1	1	25

4 年齢別利用者数（人）

	～25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	66～	計 実数
宿泊型 自立訓練	2		3		3	1	2	2	2		15
生活介護	2		3		3	2	1	5	7	2	25

5 サービス終了後の結果

	継続	グループ ホーム	自宅	アパート	就労B型	他施設	入院	その他	計 (実数)
宿泊型自立訓練	6	2	1				6		15
生活介護	15		1		1	4	4		25

6 職員体制

	宿泊型自立訓練事業	生活介護事業
管理者兼務 サービス管理責任者	1名（常勤）	1名（常勤）
生活支援員	1名（常勤）	3名（常勤）
夜勤支援従事者	4名	1名（非常勤）
地域移行支援員	1名（常勤）	
医師・看護師		2名（非常勤）

7 日課

	宿泊型自立訓練事業	生活介護事業
サービス提供時間	夜間支援従事者 17:00～23:00 3:30～8:30 生活支援員 地域移行支援員 8:30～17:30	8:30～15:00
訓練内容 (サービス内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊による自立訓練 ・ 朝夕食事提供 ・ 地域移行支援 ・ 健康管理 ・ 生活相談 ・ 生活支援 ・ 夜間防災安全体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事・入浴・排せつ介助 ・ 日常生活上の支援 ・ 軽作業（クッキー・部品） ・ 地域交流（和み部屋） ・ 創作活動、余暇活動 ・ 相談 ・ 健康管理・指導

8 関係機関との連携

- ・ 各圏域障害者相談支援センターや相談支援事業所とのネットワーク
- ・ 障がい福祉サービス事業所との情報共有と連携

9 行事

- ・ 地域での清掃活動等参加、あじさいまつり、観梅、地域のイベント、ナイスハートバザール、ふれあいバザール1回実施（いすず亭にて）

10 災害訓練

- ・ 自立訓練事業所、生活介護事業の日中防災・防火訓練 年3回
- ・ 避難訓練 防災 6回・防火 6回（内2回は夜間訓練）

1 1 健康管理

- ・定期検診（X線検査含む）と検便・インフルエンザ予防接種
- ・生活介護事業 月～金バイタルチェック実施
- ・協力医療機関、高茶屋診療所健康講和、ナカハマデンタル訪問診療と歯に関する指導
- ・宿泊型自立訓練事業 生活習慣病のチェック及び指導
- ・インフルエンザ対策としてうがいと手洗いの励行
- ・インフルエンザの予防についての講話
- ・健康講和（熱中症対策・間食・食中毒・夏バテ予防・花粉症他）
- ・歯みがき指導
- ・新型コロナウイルス対策として毎日のマスク着用・検温・室内換気の励行
- ・新型コロナウイルス感染症対策として空気清浄機設置

1 2 事業所内研修

生活介護

新任研修

- ① 生活介護事業概要・個人情報保護

継続研修

- ① サービス管理について
- ② 水中毒について
- ③ 就業規則・感染症対策について

宿泊型自立訓練

新任研修

- ① 宿泊型自立訓練事業概要・個人情報保護

継続研修

- ① 水中毒について
- ② 就業規則について・感染症について
- ③ パート職員就業規則について

1 3 苦情解決

生活介護

- ① 苦情 無
- ② 意見 無

宿泊型自立訓練

- ① 苦情 3件
- ② 意見 1件

令和2年度 「クローバーハウス」 事業報告

就労継続支援B型事業（定員20名）

1 総括

- ・ パンの製造と販売を通して、地域交流ができた。
- ・ 三重刑務所用コッペパンを昨年に引き続き契約することが出来、安定した収入を得ることが出来た。
- ・ 津市松菱物産展に出展し広域的な販売宣伝ができた。
- ・ 材料費の高騰が目立ち、菓子パンの売上げが減少した。
- ・ ルート配達・対面販売・パンセット配達それぞれ減少傾向にあり見直しを検討した。
- ・ コロナウイルスの影響でほとんどのイベントが中止となり売上げ減少となった。
- ・ 目標とした時給460円が達成できなかった。

2 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者人数	19	19	20	21	21	18	19	19	19	19	19	20	233
延利用日数	388	401	398	422	391	356	393	367	379	376	346	400	4,617
延就労時間	1729	1719	1737	1852	1738	1624	1797	1674	1656	1630	1496	1766	20,418

3 地域別利用者数

市町名	津	玉城	志摩	御浜	松阪	計
人数	23	1	1	1	1	27

4 年齢別利用者数

	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～68	計
人数	0	3	3	4	4	3	3	2	5	27

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼生活支援員	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	1名（常勤）
生活支援員	1名（常勤）
目標工賃達成指導員	4名（非常勤）

6 作業種目

- ① パン・缶詰パンの製造販売・ルート配達
- ② クッキー・焼菓子等の販売
- ③ 工場受託作業
- ④ イベント参加等

7 日課

作業時間：8：30から15：00

作業日：事業所カレンダーによる開設 原則月曜から金曜日

年間270日

8 主な販売・イベント・地域交流

○定期販売先（敬称略）

イムラ（井村屋）・嬉野SA上り・農業屋みのり久居店・白山社会福祉協議会・マックスバリュー城山店・垂水店・三重県庁（県厚生棟）・津マルシェ・心豊苑・ぎゅうとら・かわげ道の駅・朝津味・松阪ベルファーム・にこまま（イオン鈴鹿）・パンセット配達・津東高校・久居高校・松阪工業・松阪商業・片田保育園・北口保育園・マンダリン・イルファール・三重刑務所 中央保育園
高茶屋保育園 サンフラワーガーデン 盲学校 農家市場

○イベント・地域交流

がんばる事業所応援プロジェクト、 津市ええもん物産展、 ふるさと三重

9 災害訓練

事業所合同消火訓練 火災発生時避難訓練
地震時避難訓練

10 健康管理

定期検診（X線検査含む）
インフルエンザ接種 蔓延防止のための対策
検便
新型コロナウイルス感染防止対策

11 その他の事業

共同受注窓口

12 事業所内研修

新任研修
① 事業所内容及び引継ぎ
継続研修
① パンの基礎知識①
② パンの基礎知識②
③ クレーム対応の基礎知識

13 苦情解決

苦情 16件
意見 1件

令和2年度 「いすず工房」 事業報告

就労継続支援B型事業（定員20名）生活介護事業（定員8名）

1 総括

①就労継続支援B型事業

- ・就労事業に取り組み、経済的な自立への支援ができた。
- ・平均時間給490円、平均工賃49,665円の工賃支払いが出来、目標の達成ができた。
- ・仲間同士で作業を教えあい協力して働く体制ができ、チーム力が高まった。
- ・弁当箱組立、箸入、袋折、弁当詰の作業になれ、弁当・給食事業への見通しができた。
- ・喫茶「待夢」うどん店「いすず亭」での接客により、マナーの向上が図れた。
- ・コロナウイルス感染症蔓延防止でイベントもなく、弁当等の事業が振るわなかった。
- ・弁当に地元の食材を使用して、地域との協働が出来た。
- ・「ふれあいうどん券」の活用により地域の高齢者との交流が図れた。
- ・デイサービスへの昼食サービスをすることで、地域の高齢者と交流ができた。

②生活介護事業

- ・バイタルチェック・服薬管理により、安定した健康な暮らしが継続できた。
- ・仲間との交流や地域の社会資源の活用で、社会生活力が高まった。
- ・余暇活動として、大正琴の演奏や手芸、パズル等への参加で、豊かな暮らしができた。
- ・一貫張り作成・ビスの並べ替え・シール貼り作業等で社会経済活動への参加ができた。
- ・毎月定例の医師講話や看護師の指導を受け、健康な暮らしへの意識が高まった。

2 年間延利用者（開設日数）

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者数	16	16	17	15	15	14	14	15	15	15	15	14	181
延利用数	314	333	309	303	296	270	293	292	290	288	252	278	3,518
延就労時間	1670	1684	1647	1632	1574	1384	1918	1469	1513	1487	1315	1478	18,359

ふれあいうどん券活用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	32	37	29	34	20	54	33	45	27	46	37	47	441

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	95
延利用数	158	178	166	172	164	163	172	163	170	164	138	149	1,957

平均利用者数 就労継続支援B型事業 13.0人 生活介護事業 7.5人

3 地域別利用者数（人）

	津市	名張	松阪	計
就労継続	16	1	1	18
生活介護	6		2	8

4 年齢別利用者数（人）

	～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	65～	計
就労支援	1		2		3	2	1	3		6	18
生活介護						2		3	1	2	8

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼務生活支援員	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	1名（常勤1名）
生活支援員	3名（常勤2名 非常勤1名）
目標工賃達成指導員	3名（非常勤3名）
医師・看護師	各1名（非常勤）

6 日課

	就労継続支援B型事業	生活介護事業
サービス提供時間	8：30～15：30	8：30～15：00
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食・弁当事業 ・喫茶・飲食店 ・製麺事業 ・工場受託作業 ・高齢者サービスへの食事提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・入浴・排せつ介護 ・日常生活上の支援 ・軽作業・余暇活動 ・健康管理・指導・相談 ・相談 地域交流

7 行事 地域での清掃活動等参加

8 災害訓練（年間） 防火訓練2回、地震防災訓練 1回

9 健康管理

定期検診（X線検査含む）、インフルエンザ接種、検便、血圧測定
生活介護は毎日のバイタルチェック

10 事業所内研修

	就労継続支援B型事業	生活介護事業
新任研修	基本理念・業務 統合失調症の正しい理解と対応	基本理念・事業内容
継続研修	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理 ・リスクマネジメント ・障がい福祉サービス事業運営に係る留意事項 ・食品衛生 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理 ・障害者理解 個別支援計画作成 ・事例から学ぶ虐待 ・接遇・食品衛生

11 苦情解決

苦情 6件 意見 8件

令和2年度 介護サービス包括型グループホーム夢の郷

(はるか・南風荘・朝海ハイムⅡ・城山荘)事業報告

1 総括

- ① 4か所のグループホームに早番体制をとり、朝食と服薬・送り出しの支援ができた。
- ② 健康管理・服薬支援・金銭管理等の必要な生活支援を行った。それにより、緊急入院や服薬忘れが減少した。
- ③ 夜間緊急時の携帯電話による緊急連絡体制作りや、夜間各ホームの巡回を行い、適切な時間での眠前薬の服薬を行った。同時に利用者の安否確認を行った。
- ④ 定期的な通院及び緊急受診同行等、医療機関との連携により健康管理を行った。
- ⑤ 利用者の嗜好を取り入れ、お楽しみメニューを職員と共に作った。
- ⑥ 就労・日中活動事業所との連携・情報の伝達等を行い、暮らしの安定を図った。
- ⑦ 防災訓練に夜間訓練を加え、職員が不在の時にも避難できるようになった。
- ⑧ 個人用の防災用品の配備により、防災への意識に繋がった。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、計画していた行事が出来なかった。
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底で、感染防止を図った。

2 年間利用者数

	定員	3月末現員	延利用者数	平均実利用者数
はるか	8	6	2,520	6.9
南風荘	5	5	1,813	5.0
朝海ハイムⅡ	5	5	1,825	5.0
城山荘	4	4	1,460	4.0
計	22	20	7,452	20.9

3 地域別利用者数

	津	伊勢	松阪	志摩	亀山	玉城	計
延人数	17	1	1	2	1	1	23

4 区分による利用者数

はるか

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
2	730	2.0	29
3	1,029	2.8	41
4	396	1.1	16
5	365	1.0	16
計	2,520	6.9	100

南風荘

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
2	214	0.6	12
3	718	2.0	40
4	881	2.9	48
計	1,823	5.0	100

朝海ハイムⅡ

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
2	334	1.0	18
3	761	2.1	42
4	365	1.0	20
5	365	1.0	20
計	1,825	5.0	100

城山荘

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
3	730	2.0	50
4	365	1.0	25
5	365	1.0	25
計	1,460	4.0	100

5 年齢別利用者数

	～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～70	71～	計
人数			1	2	3	4	6	6	1	23

6 職員体制

職名	配置状況
管理者兼サービス管理責任者	1名（常勤兼務）
世話人	8名（常勤4名）非常勤（4名）
生活支援員	4名（常勤2名）非常勤（2名）

7 防災対策

- ① 各グループホームに自動火災警報装置、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置
- ② 非常用防災用品の整備と点検（防災グッズ入りリュック）
- ③ 非常用食品の備蓄
- ④ 地震避難訓練 6回（内夜間訓練2回）
防火防災訓練 6回

8 事業所内研修

- ① 新任研修 グループホームの概要と業務分担について
コミュニケーションと朝礼・夕礼
- ② 継続研修 感情労働とストレス対策
水中毒
危機対応
障害者虐待の防止
福祉サービスにおける苦情対応

9 苦情解決

苦情 2件
意見 1件

令和2年度 日中サービス支援型共同生活援助事業所

あすか事業報告

1 総括

- ① グループホーム利用者の高齢化、重度化に対応するため、世話人の配置は 3 : 1、生活支援員は常勤換算で 1.3 名の配置とした。
- ② 朝夕のバイタル測定（血圧・脈拍・体温・体重）、定期薬の手渡し服薬支援により安定した暮らしができた。
- ③ 必要に応じて医療機関（精神科・内科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻科）への通院同行をして医療との連携を図り健康管理を行った。
- ④ 夜間支援従事者による見守りと緊急対応等、利用者へのきめ細かな支援によりグループホームでの安心な生活の場を提供できた。
- ⑤ 毎月の健康講話にも参加して、健康への意識が高まった。
- ⑥ 建物がバリアフリー構造であるので、車椅子利用者・高齢者・下肢筋力低下利用者への対応が出来た。
- ⑦ 短期入所（ショートステイ）を定員 1 人で併設し、緊急宿泊サービスを提供した。
- ⑧ 徹底した新型コロナウイルス感染症への感染防止対策（マスク着用・アルコール消毒・テーブルの交換・パーテーション設置等）を行った。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症対策で、計画していた地域との交流や行事への参加ができなかった。
- ⑩ 体調不良により介護サービス包括型のグループホームから受け入れもでき、希望する地域の暮らしが継続できた。
- ⑪ 健康を回復し、介護サービス包括型グループホームへ移行ができた。

2 年間利用者数

	定員(人)	延べ利用日数	月平均実利用数
日中サービス支援型	6	2095	5.7
短期入所	1	73	0.3

3 障害区分による利用人数

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
4	1,579	4.4	75
5	516	1.5	25
計	2,095	5.7	100

4 地域別利用人数

	津	松阪	尾鷲	亀山	志摩	名張	鳥羽	計
日中サービス支援型	4	1	1	1	1		1	9
短期入所	4				1	1		6

5 年齢別利用人数

	51~55	56~60	61~65	66~70	71~	計
日中サービス支援型	1	1	5	1	1	9
短期入所	2	3	1			6

6 計画相談事業所の確保（短期入所を含む）

はるかぜさん サンフラワードリーム てらだ やじろべい こだま アンダンテ

7 日中活動サービスの利用（短期入所を含む）

就労継続支援 A 型 リアン
 就労継続支援 B 型 笠取の里
 生活介護 朝海ハイム いすず工房
 日中一時支援 アンダンテ

8 短期入所利用の理由

虐待
 夫からの DV
 家族の入院
 家族のレスパイト

9 職員体制

職名	配置状況
管理者兼サービス管理責任者	1名（常勤）
世話人	2名（常勤） 1名（非常勤）
生活支援員	1名（常勤） 1名（非常勤）
看護職員	1名（非常勤）
夜間支援従事者	5名（非常勤）

1 0 防災対策

- ① 自動火災警報装置、スプリンクラー、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置
- ②非常用防災用品の整備と点検（個人防災グッズ入りリュック）
- ③非常用食品の備蓄
- ④地震避難訓練 6回（内夜間訓練2回）
防火・防災訓練 6回
- ⑤防災カードの所持

1 1 事業所内研修

- ① 新任研修 日中サービス支援型共同生活援助事業の概要と事業内容
コミュニケーション 朝礼と昼礼
- ② 継続研修障害者 感情労働とストレス対策
水中毒と危機対応
障がい者虐待防止
福祉サービスにおける苦情対応
個人情報保護と守秘義務

1 2 苦情対応

苦情 1件

令和2年度 「アンダンテ」 報告

1. 実施事業内容

(1) 地域生活支援事業(日中一時支援事業)

- ・地域で暮らす障害者の日中の見守り支援と相談支援
- ・食事、入浴・服薬支援及び必要な人への送迎
- ・余暇活動支援(体操・ティータイム・大正琴)
- ・地域交流については、コロナ感染症防止のため参加できなかった。
- ・コロナ感染症対策として様々な備品消毒、来所者の検温など。

年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	29	27	30	30	30	28	31	28	31	30	26	31	351
利用延日数	453	407	429	392	397	387	399	380	376	375	378	372	4,745

1日平均利用者 15.1人

契約市町別

	津	亀山	松阪	玉城	伊勢	志摩	尾鷲	鳥羽	御浜	計
利用者数	28	1	2	1	2	1	1	1	1	38

(2) 特定相談事業(計画相談)

- ・計画相談支援をすることで、利用者の地域生活を支援できた。
- ・津市自立支援協議会本会及びワーキングにリモートで参加。
- ・利用者希望による、他相談支援事業所への移動もあった。
- ・津市障がい者相談支援センターとの連携を行い、困難事例の検討ができた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規・更新	8	9	3	10	11	14	8	14	7	10	7	5	106
モニタリング	15	20	11	16	14	5	14	11	6	15	16	1	153

2. 関係機関との連携

(1) 津市地域自立支援協議会

本会会議(リモート参加)

津市障害者計画・第5期津市障害者福祉計画策定参画

精神保健福祉ワーキンググループ(リモート参加)

(2) 津市精神保健福祉連合会

総会・研修会参加(リモート参加)

スポレク大会、当事者と参加(コロナ感染症対策のため延期)

(3) 三重県精神保健福祉会(コロナ感染症対策のため延期)

三重県精神保健福祉大会

甲州東海ブロック研修高山大会参加

みんなネット大会参加

定期例会・家族研修会への参加

(4) 三重県精神保健福祉協議会(コロナ感染症対策のため延期)

精神保健福祉大会への参加

(5) 三重県精神保健福祉審議会(コロナ感染症対策のため延期)

会議における意見交換と検討

三重県精神障害者福祉事業所協議連絡協議会への報告

三重県との意見交換会事前打ち合わせと開催

(6) 三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会(コロナ感染症対策のため延期)

総会・研修会への参加

(7) 津市障がい者計画相談支援事業所連絡協議会

総会・研修会への参加(リモート参加)

(8) 津地域精神保健福祉連絡協議会

総会・研修会への参加

3. 防火・防災訓練

年1回実施

4. 事業所内研修

(1) 新任研修

① 日中一時支援事業について(業務と利用者支援)

② リスクマネジメント

③ 食中毒と感染症対応について

(2) 継続研修

① 福祉サービスにおけるマニュアルの活用

② 障害者虐待防止

③ 接遇と利用者対応

④ 管理者研修

5. 苦情解決

苦情 無

令和2年度工賃向上報告書

クローバーハウス

1. 概要

主な生産活動内容	パンの製造販売、パンセット仕分け作業、缶詰パンの製造販売、地域企業より部品組立の受託作業
----------	--

○利用者数

定員	20名	延利用者数	233名
----	-----	-------	------

2. 工賃実績

○工賃総額 8,532,959円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	R元	R2	
平均工賃実績額	420円	420円	
月額工賃実績額	36,430円	36,622円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ①誰でもできる受託作業と単価の高い作業の受託。
- ②5S推進による効率の良い働きやすい職場環境の整備。
- ③クッキー製造機器の導入による大量生産体制。
- ④缶詰パン販売促進のための積極的な営業活動。
- ⑤利用者が共にパン製造に関われる仕組み作り。

具体的な取組み

- ①部品作業受託先事業所の新規開拓に努め、単価の高い作業を受託できた。
- ②ミーティングや部署会議において、現状の売上や販売管理費・原材料費等の状況改善を諮った。
- ③イベント等には1個当たり単価の高い商品の販売を増やした。
- ④津市・松阪市内の高校への昼食用パンの対面販売や、施設への出張販売を行った。
- ⑤研修に参加し、コンサルタントからの提案や助言を受け、クローバーハウス全体で共有した。

課題等

- ①パンの売り上げ金額が年々減少し、パンセットのルート配達も最盛期の半数に落ち込んでいる。
- ②缶詰パンの販売先開拓をしているが目標に達していない。
- ③パンの製造や販売に利用者さんへ声掛けはしているが、参加への不安が強く特定の人だけになってしまう。

令和2年度工賃向上報告書

いすゞ工房

1. 概要

主な生産活動内容	うどん店「いすゞ亭」での製麺・販売、喫茶「待夢」での接客、弁当給食作業・地域企業より部品組立の受託作業
----------	---

○利用者数

定員	20名	延利用者数	181名
----	-----	-------	------

2. 工賃実績

○工賃総額 8,989,425 円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	R元	R2	
時給実績額	499円	490円	
月額工賃実績額	49,659円	49,665円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ① 弁当事業では昨年度の実績を参考にして、計画的に事業を進めた。(曜日ごとに担当を決めた)
- ② 各作業の担当及びサブ担当を決め、スムーズな業務遂行に繋がった。
- ③ 待夢のお客様の要望を取り入れランチメニューに変化をつけた。
- ④ 作業場の整理を行った。
- ⑤ 利用者全員がどの作業にも取り組めるよう、作業工程を細分化した。
- ⑥ 作業が途切れないよう計画的に受注した。

具体的な取組み

- ① 顧客に満足していただけるよう、季節感のある弁当を提供した。
- ② 職場環境を効率よく働けるよう整えた。
- ③ 給食メニューについて、給食委員会以外の職員にも提案を依頼した。
- ④ 受託作業の検査等で、作業種目毎に分担した。
- ⑤ 作業工程を、写真やマニュアルの活用で分かりやすくした。

課題等

- ① 利用者一人ひとり家族やグループホーム等と連携を密にし、体調管理と暮らしの支援を行う。
- ② 作業場が手狭なため、利用者・職員の安全確保のために常に5Sを推進する。
- ③ 食品表示への対策。原価計算の見直し。
- ④ 利用者の高齢化による作業の見直し。
- ⑤ 高齢者デイケアの給食提供のマニュアル化と人員体制を整える。